「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」 第101回 (通算第180回) 定例会 会議録

◆日 時:令和7年5月20日(火) PM7:10~8:30

◆場 所:田辺市医師会館 3F 大講堂 ◆出席者: 35 名 +オンライン2名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

[19:10~20:30]

19:10~ 開 会

19:10~19:45 研修

「防災士が伝える実践的な情報共有」 ~地域で生き延びるためにできること~

講師:訪問看護ステーション和

理学療養士・防災士 塩田 竜也氏

19:45~20:30 意見交換・発表

20:30 閉 会

【報告内容】

防災士とは

「自助・共助・協働」の精神に基づき、災害時に地域や職場、家庭などで防災の実践活動を行う 人。資格をもった市民ボランティア的な存在。

役割

- ・災害が起こる前→備え(避難訓練・啓発・備蓄の提案)
- ・災害が起きた後→初期対応(安否確認、避難誘導、応急措置)
- ・災害後→復旧支援や情報共有

和歌山県防災ナビの活用

- ・アプリの主な機能
 - →①避難先検索 ②防災情報のプッシュ通知 ③家族や職場の人が避難した場所の確認 ④避 難トレーニング ⑤河川水位情報・土砂災害危険度情報 ⑥大規模災害時に医療機関診療情報を表示 ⑦防災備蓄計算

エコキュートからの給水

・停電時でもお湯が使用できる

ガソリンスタンド ~災害による営業状況~

・資源エネルギー庁のホームページで確認できる

災害伝言ダイヤル(171)の利用

災害時の医療の状況

- ・まずは重症者と医療を継続的に必要とする人に対して重点的に提供される
 - → (例) 重症外傷、すでに入院中の動けない人、透析患者 など
- その後に避難所、救護所、巡回診療が開始
- 大きなけが、病気をした場合は災害拠点病院の受診を
- ・小さなけが、軽い病気の場合は受け入れのある近くやかかりつけ医へ受診を

各事業所の BCP メンバー

- ・特定の人だけに頼らない。不在の場合もあるので、代替メンバー(サブ)を設定
- ・バランスよくする(経営層のみ、現場のみだと意見が偏る傾向がある、女性メンバーは必ず入ってもらうこと)
- ・主要メンバーは必ずローテーションで対応する。特定のメンバーが休まずに対応すると、周りも休み辛くなる

「命をつなぐ第一歩は、"いま、無事かどうか"を知ることから」

【意見交換】

○災害発生時、各事業所との情報共有方法

<诵信手段>

- ・インターネットが使えれば問題ない。ただ使えたとしてもパンクするかも。
- 情報共有のためのシステムが多すぎて重複するかも。一本化したほうがいいのでは。
- ・初動期は自分たちで情報をとりにいくしかない。そのため、紙でリスト化しておくことも大切
- ・医療情報の共有ができること
 - →複数のアプリが使えるように整備、伝言録音、事前に議論を深めておく
- ・情報共有方法について、連携している事業所と事前に確認をしておく
- ・山間部のインターネットがつながらない地区の情報などが共有できるといい →普段から横のつながりが必要

<自組織>

- ・組織でどのような役割になって、どう動いていくかを知っておくこと
- ・職員の出勤状況が把握できること
 - →もし職場に出勤できなければ、自資格の活用できる場で頑張るようにと言われている職場 も。
- ・自事業所内は少なくとも情報共有できるようにしておく
- 利用者情報の共有
 - →自事業所で access を利用して誰でも利用者の情報が見れるようなシステムを作っている
- ・近くの事業所とはラインや電話ぐらいは連携できるかも。でも、自分のところが精いっぱい。な かなか近隣のことまで考えるのは難しい。

<備え>

・薬のストッックの活用(平時から余裕があるように薬を確保しておく)やお薬手帳の活用。災害 時持ち出し物品の中に入れておく。

<自分たちができること>

- ・マイナ保険証、くろしお NET で薬の確認ができるように
- ・多職種で共有できるツールがあるといい。それが圏域内で共有できれば、災害時にも有益では
- ・利用者の"自助"を高めてもらう
- まずは「自分の命を守る」
 - →各事業所だけではむり。大きな組織にがんばって、この考え方を周知してもらう。そして、 利用者に伝えていくことが大事
- ・BCPやマニュアルの整備
 - →作成したものをほかの関係者にも知ってもらうことで、自分たちも動きやすくなると思う。 (何を優先度とするか、どう動くことになっているか など)
- ・支援する人が生き残れるように
 - →利用者の情報を持っている人が活動できるような環境整備を

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時:令和7年6月17日(火) 午後7時~

場所:田辺市医師会館 3F 大講堂

内容:精神障害について